

北九州市立菊陵中学校
学校だより
14号
校長 上 赤 義 人

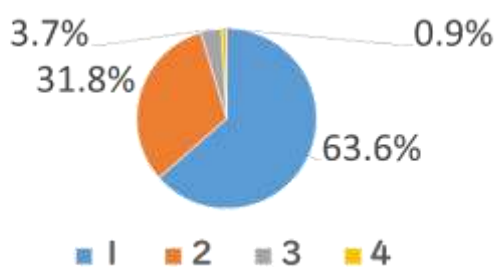
学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成



節分に考えてみよう！

節分とは、字の通り季節を分けるという意味です。昔は現在の年末年始と同じような意味があったようです。この節分の時期に、本年度の振り返りをしっかりと来年度の準備を進めることが大切だと考えています。来年度4月の好スタートができるためにも…。そこで、昨年末に実施した学校生活アンケート結果から、本年度を振り返り来年度について考えてみたいと思います。

まず、「安心して学校生活を送っていますか」(1:そう思う 2:だいたいそう思う 3:あまりそう思わない 4:そう思わない)の質問について下のグラフのような結果となりました。



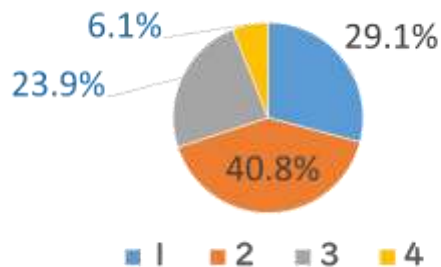
95.4%の生徒のみなさんが、安心して学校生活を送れているようで安堵しています。ただ、来年度は是非100%を目指したいと思います。

この他にも「学校の決まりを守っている」「自分からあいさつ

をしている」「清掃活動に一生懸命取り組んでいる」等の質問に肯定的な回答をした生徒が95%います。この結果は、当たり前のことかもしれませんが、生徒のみなさんの基本的な生活習慣が確立されていることを表すとても素晴らしいことだと思います。

また、「誰に対しても思いやりの心をもって接している」に対して89.8%、「集中して授業に取り組んでいる」に対しても90.7%の肯定的な回答結果となりました。本年度の学校目標である徳・知・体の調和ができつつあるようです。

少し気になった結果もありました。生徒のみなさんも、しっかりと考えてみてください。質問は「学校の授業以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」(1:2時間以上 2:1時間以上 3:1時間以下 4:30分以下)



です。1時間以上している生徒が69.9%いる反面で、30%の生徒が1時間以下です。ある小学校の先生から「学年×10分+αの家庭学習時間が必要です」と聞いたことがあります。これに当てはめると、中学1年生は70分以上、2年生

は80分以上、3年生は90分以上の家庭学習時間が必要になります。小学生以上に中学生は進路(進学)において学力の向上が求められている現実があります。

その現実に対して生徒のみなさんは、今をどう考え、今後どのようにしようと考えますか。自分の将来は自分で切り開いていくしかないのですから…。

<「どうするか」を考えない人に、「どうなるか」は見えない 野村克也>

節分の時期に、自分自身の中にある弱い自分(鬼)を追い払い、将来を切り開く負けない自分(福)を呼び込みましょう。

「鬼は外、福を内」と言いながら。



非常事態宣言が発令中

新型コロナウイルス感染拡大防止による非常事態宣言が発令されています。その延長が気になるところです。

生徒のみなさん、保護者・地域の方も不要不急の外出を控えるようにしなくてはなりません。感染防止のために一人一人ができることをしっかりと行うことが大切です。教職員も19:30までには退勤し20:00以降の不要不急の外出をしないよう努めています。

正しい手洗い・消毒・換気・マスク着用の仕方を意識して、今後も行動していきましょう。